

事業所における自己評価結果

公表日：令和 年 月 日

教室名：児童デイサービスひまわりきっず

		チェック項目	回答数	はい	いいえ	わからない	工夫している点・課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用する年齢が高い子が多い時は狭く感じる。</li> <li>・活動内容や子供の年齢によっては狭く感じられる。</li> <li>・運動器具の置き方を工夫し、安全に身体を動かすことが出来るようにしている。また、戸外に赴きストレスのないように活動を組み込んでいる。</li> <li>・活動に合わせて教室を使い分けたり、運動時同じ方向に移動しづつからないようにしている。</li> <li>・自由遊びの時間では、安全に活動できる様に遊び方よりスペースを分ける等工夫している。</li> <li>・利用定員が10名になったことでスペースは十分に取れていると思う。小部屋で10名の活動をしていないので良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発的な利用児童が多い日に指導訓練室等が狭く感じることがある為、戸外遊びや個別療育等で部屋を分けるようにし安全に活動できる環境を整えていく。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	9	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた休憩を取るには足りないこともある。</li> <li>・医療を必要とする児童が増える一方で、看護職員の配置が少ないように感じる。1日2名配置できる体制が望ましい。</li> <li>・令和3年度の報酬改定で医療ケア児の利用が増えることが予想される為、現状の2名配置から3名配置にしたい。その日の利用児童に応じて適切に配置されている。</li> <li>・子どもの利用人数により配置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日職員を6名配置して営業しているが、医療的ケア児の利用が増えてくると看護職員に対しての負担が増える為、看護職員の募集をしてもらうように会社に提案していく。</li> </ul>
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	4	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所、相談室の部屋の一部と玩具を置く部屋が混在している為利用児童の使える場所、行ける場所の説明が難しい。</li> <li>・バリアフリーには対応していない。</li> <li>・わかりやすく構造化に努めつつ個別でよりわかりやすく、視覚支援が必要な児童には、視覚カードを作っている。だが、月齢の低い子どもたちへのわかりやすさの支援が足りていないと感じる。</li> <li>・年齢や個々の発達状況に応じて補助具や介助をしている。</li> <li>・決まった場所に収納することや、片付けをすることをわかりやすくしている。情報伝達に関しては、携帯アプリや連絡ノートを使用し、対応できるようにしている。</li> <li>・写真で示しているものも多く分かりやすくされているが声の大きさを示す図などを増やしていけるものもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員に事務所、相談室に児童が入っていい時間や場合の意志統一を行う。また、玩具の写真カードを使い、利用児童が玩具を見なくてもどの玩具で遊びたいかを伝えられるように工夫する。</li> <li>・視覚カードについて、増やしていきたい対応できる範囲を増やしていくようにする。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走ったり、ボール遊びなどには適さない空間。</li> <li>・玩具など刺激になるものは、目隠しカーテンを用いたり別室に置いたりして生活空間を広く確保出来るようにしている。</li> <li>・毎日清掃や洗濯等行っている。</li> <li>・部屋の構造を工夫し、出来る限り子ども達が満足して活動できるようにしている。</li> <li>・清掃など毎日行えている。特段危険なものはないが、玩具の配置(本棚など)は今後も考えていきたい。</li> <li>・コロナとおうこともありいつもよりさらに消毒したりと気を付けたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日清掃を行い使ったものを洗濯し清潔に保っているが、コロナウイルス感染防止のため引き続き消毒に気を配りたい。</li> <li>・走る、ボールをするといった活動には適さない空間ではある。生活空間を出来る限り広く取りかつ安全に過ごせるようもの配置を工夫したり視覚からの刺激を軽減できるよう目隠しを用いたりしているが、更に心地よく過ごせるようにおもちゃや本棚の配置を考慮していきたい。</li> </ul>
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり実感が無い。</li> <li>・毎日反省会がある。</li> <li>・日々、反省会で改善すべきところについて話し合い、ノートに記録することで職員全員が把握できるようにしている。また、全員が集まるのが困難な為直接意見を聞くようにしている。</li> <li>・業務評価シートを通じて、面談や振り返りができている。</li> <li>・評価シートを活用し、管理者との面談を通して各職員に対して対応している。また、面談の中での意見を業務改善に繋げられるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善のためのPDCAサイクルに関して、全職員に再度周知し、どこに改善点があるのか等広く職員から意見が出る環境を作っていく。</li> </ul>
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズが何かを把握し、実施していくためには何かが必要か考えていくことが課題。</li> <li>・前回の反省を生かし次につなげている。</li> <li>・保護者向けの評価表を毎年行い、保護者の意向等を参考に改善できる場所は随時行っている。前回の業務改善で改善できる場所は説明や意向を組むように努力出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けの評価表に関して、職員全員が確認できるようにしている。また、改善点等があった場合教室としてどのように対応していくかを話し合い、必要な物品などがあった場合は会社に申請していく。</li> </ul>
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善すべき点については話し合い、保護者の方からのニーズに可能な限り応じていくようにしている。</li> <li>・各評価表に関しては職員全員で話し合い、事業所として方向性を確立している。また、結果に関してはホームページで公表し、公表のお知らせを通知している。HPIにて公開出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の自己評価については、パート職員も含む全ての職員を対象に行い、いろいろな視点から自己評価を行えるようにしている。自己評価の改善点を保護者にきっずノートを通して通知しているがどのような改善を行ったかをどのように周知するかを検討していく。</li> </ul>

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実感が無い。参加出来るものは参加している。</li> <li>・研修案内を見る時はあるが、年間予定などがあれば参加しやすい。</li> <li>・子どもプラスHDからの毎月ある研修動画を職員に偏りのないように見ている。</li> <li>・子どもプラスHDの研修などに参加し、情報を共有している。</li> <li>・子どもプラスHDや社会福祉協議会等の研修を主に研修を計画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもプラスHDからの研修や社会福祉協議会の研修に参加する機会を作っているが、正社員が主に参加しているため、パート職員等にどう研修内容の伝達や研修を受ける機会を作っていくかを検討していく。</li> </ul>
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに沿った計画になっている。</li> <li>・年2回の面談とアセスメントシートを基に作成している。・スタッフ間でも確認した上で作成している。</li> <li>・子ども、保護者の思いに寄り添った支援が出来ていると思う。</li> <li>・2名の児童発達支援管理責任者が、支援計画を作成し、支援内容について職員の意見を聞くことにより客観的になるようにしている。</li> <li>・他の職員の意見も参考に支援計画の作成が行えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の面談とアセスメントシートを用いて保護者のニーズに沿いつつ、支援内容については職員間の意見をまとめ客観的に捉えるようにしながら計画を作成出来ている。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良く知らない。知る機会があれば使用したい。</li> <li>・アセスメントシートの改善を行い、より細かな支援が出来るようにしたい。</li> <li>・教室内で標準化されたアセスメントシートを活用しているが、研修などで得た情報や知識を基に改善を行いたい。</li> <li>・発達検査等行っていないが、別施設の結果や日々の様子においてアセスメントが行えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化したアセスメントシートを活用しているが、様々なケースに対応していく為に研修などで得た知識を基に改善を行いながらより良いものを使用していきたい。</li> </ul>
	11	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	5	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・家族、地域支援についての観点あまり含まれていないように感じる為、ガイドラインを見なおし、今後の支援計画を立てる際に注意したい。</li> <li>・保護者の意向を聞きながら、具体的な支援内容をスモールステップで設定できている。</li> <li>・アセスメントや日々の様子に基づき支援に必要な項目を選択している。抽象的にならないよう支援内容は配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインに関して職員に対して再度周知していく。個別支援計画に関しては、保護者の希望に沿いながら必要な支援を具体的にわかりやすく説明していくようにする。</li> </ul>
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか	9	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けなど日々工夫しながら支援している。</li> <li>・支援計画の作成に辺り、職員の意見を参考にし、支援計画の内容を周知し、支援計画に沿った支援を行えるような環境を作っている。</li> <li>・支援計画は必ず読み、職員同士で確認をし支援を行っている。</li> <li>・1日の療育内容を記入し支援計画に沿って療育を行っていくようにしている。</li> <li>・確認共有する余裕がない。時間を作りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に関して職員全員が見やすいように場所を決め、具体的な目標に向かって利用児童に対して支援を行えるようにする。</li> </ul>
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日のリーダーで決めている為、週案等を反省会で立てるようにしていきたい。</li> <li>・行事担当で話を立て立案し、他のスタッフと協力して行っている。</li> <li>・活動プログラムにより、係を中心に職員で話し合い活動が行われている。</li> <li>・活動プログラムに関して、意見を言いやすいような環境を作れるようにしている。</li> <li>・早めに計画が立てられるとよりよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムに関して、職員同士で話し合いを行えているが、月単位での外出などの計画を行っていないことがあるので、見直しを持って支援を行う為に月単位の計画を検討していく。</li> </ul>
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に合わせていると思う。</li> <li>・戸外遊びの場所を開拓したり、運動も器具や動きに変化をさせたりしている。</li> <li>・新しい運動器具を使用したり、集団遊び、新しい公園に行くなど工夫している。</li> <li>・季節に応じた活動がされていると思う。</li> <li>・大まかな1日の流れを作り、その中でプログラムの内容が固定化しないように職員同士で連携している。</li> <li>・行事や療育内容を含め、どの利用児童にも平等に満足してもらえるよう配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の流れを大まかに作り、その日に来所する子どもたちの年齢に合わせて活動を行うようにしている。また新しい運動器具、方法、公園などに赴き固定化しないよう努めている。</li> <li>・季節感を感じられるように行事を組み込みながら、どの利用児童にも平等に満足してもらえる活動を展開するように努めている。</li> </ul>
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成できるように努めているが、見直しをしてより良いものを作成していきたい。</li> <li>・社会性が培えるように、集団生活でのコミュニケーションも大事に個別支援計画を作成し、取り組んでいる。</li> <li>・課題に関して、集団活動の中でも個性を出しながら行っているが、個別活動までは取り組めていないことがある。</li> <li>・利用児童に合わせて個別のものと集団のものと組み合わせられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童に合わせて個別と集団の活動を組み合わせ作成し、活動の中でも個性を出しながら療育を行っているが、個別活動まで取り組めていないため、今後取り入れていけるよう職員間で話し合い活動を展開できるように努めたい。</li> </ul>
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここに伝達はあるが、皆が揃って伝達出来たらよいと思う。</li> <li>・支援内容や役割分担等についての打ち合わせが全員で出来ている訳ではないので、当日又は前日に確認していきたい。</li> <li>・リーダーに確認し、分担して行動している。</li> <li>・必ず話し合いが出来ている訳ではないが、留意することがあれば確認している。</li> <li>・伝達ノート等を使用し、全職員が共有できるように工夫している。</li> <li>・1日の流れは確認できている。前日に確認出来るかとゆとりが持てるように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会等で職員間の打ち合わせを行っているが、各個人への伝達が主のため送迎前等で打ち合わせを行う時間を作るなど検討していく。</li> </ul>

	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業時間の違うパートには難しい。</li> <li>・支援終了後に参加は出来ないが、ノートを見て共有出来ていると思う。</li> <li>・反省会、ノートの活用等でその日いなかった職員にもわかるように伝達できている。</li> <li>・ノートを活用し全員が周知できるようにしている。気付いた点について話し、次の支援に繋げている。</li> <li>・反省会を行い、振り返りや情報共有をしている。</li> <li>・その日の振り返りや気づいた点、利用者の利用予定変更等、職員で確認し記録を残している。</li> <li>・反省会にてヒヤリハットや気付いた点、確認事項等共有出来ている。ノートに記入しその場にはない職員にも共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎終了後に、その日行われた支援の振り返りとして反省会を行っている。反省会で出た内容などはノートに記入し参加していない職員も確認出来るようにしているが、伝達事項などよりわかりやすく共有していくかを検討していく。</li> </ul>
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な観点から子どもたちの様子を記録できるようにしており、記入者が偏らないようにしている。</li> <li>・支援終了後に記録を取り、振り返りをして話し合っている。</li> <li>・個別支援計画に沿った記録を取るよう職員間で周知している。記録を基にモニタリングを行うようにしている。</li> <li>・毎日日誌、療育内容を記入し漏れの内容他の職員と確認しながら記入出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後に支援計画に沿った内容やその日の様子を記録し、その日に振り返りを行いながら次の支援方法を話し合うようにしている。</li> </ul>
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回のペースで行うことが出来ている。見直しの際は、目標設定が高すぎでないか確認している。</li> <li>・支援計画を確認し、評価、振り返りを記録している。</li> <li>・定期的に支援の振り返りを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っている。</li> <li>・モニタリングを行い見直しにて新しい支援内容に変更など行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回のペース、また必要に応じて支援計画を見直しモニタリングを行い作成を行っている。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握できていないのでわからない。</li> <li>・児童発達支援管理責任者が参加している。必要に応じて事前に資料を作るようにしている。</li> <li>・利用児童に応じて職員が参加し会議の内容を共有している。</li> <li>・基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。参加前に職員に対して対象児童についての聞き取りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者が参加しているが、必要に応じて他の職員も参加できるように促していく。また、担当者会議があった後に職員全員に内容の周知をしていく。</li> </ul>
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握できていないのでわからない。</li> <li>・連携出来ていない。今後連携をとれるように体制を整えたい。</li> <li>・今後関係機関と連携出来ると良い。</li> <li>・連携は出来ていないが、今後どのように連携を取っていくかは検討していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携は出来ていないので、研修などに参加し、連携への土台を作っていく。</li> </ul>
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通っている病院、医師などを確認し、もしもの場合の緊急搬送については、保護者に同意を取り指定の病院に行くようにしている。</li> <li>・病院と連携を取り、看護を行っている。</li> <li>・場合によってはかかりつけ医、病院と連携をとり安全に支援が行えるようにしている。</li> <li>・よくわからない。</li> <li>・保護者の意向を基に可能な限り連携を取りながら支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を基に可能な限り連携を行っているが、事業所としてどのように連携を取っていくかを職員間で話し合いを行っている。</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示書でやり取りをしている。</li> <li>・よくわからない。</li> <li>・連絡が取れるよう主治医と病院は把握しているが、連絡体制を取れているかは不安定である為確立したい。</li> <li>・病院の指示書を通じて、看護し何かあれば連絡が取れるよう体制をとっている。</li> <li>・医師の指示書の更新を定期的に行い、医師との連携を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示書の更新時等に連絡を取り連携を行っているが、より良い連絡体制を構築していく為に看護職員を中心に話し合いを行っている。</li> </ul>
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との面談時において、教室での様子を伝える中で関係機関との情報共有を掲示することもあるが全員を対象に行えていないのが課題。</li> <li>・移行支援は未だに行えていないが、要望があれば出来るよう準備はしている。</li> <li>・移行支援までは出来ていないが、保護者の希望があれば情報共有や支援についての引継ぎ等を行っている。</li> <li>・利用している子ども全員ではないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を基に支援内容等の情報共有は行っているが、より良い関係性を構築していく為にどのようにしたら良いのかを職員間で検討していく。</li> </ul>
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・移行支援は行えていない。就学面談時に保護者に向けて現在の子どもの状態を細かく伝えるようにしている。行えていないが要望があれば行っている。</li> <li>・移行支援までは出来ていないが、保護者の希望があれば連携の体制を整えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行支援は行えていない。今後、小学校がどのように考えているのか等情報収集しながらどのように対応していくかを検討していく。</li> </ul>
26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	4	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・直接的な助言を受けていないが、研修の機会は設けている。</li> <li>・研修があれば参加したい。</li> <li>・社会福祉協議会や広島県主催の研修等に参加する機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会を設けているが正社員が主な為、パート職員等に研修を受ける機会をどう作っていくかを検討していく。</li> </ul>	

	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の出来事を伝えるように努めているが、発達状況や課題の共通理解までは出来ていない。</li> <li>・送迎時や連絡ノートでやり取りし、情報共有することで支援に繋がっている。</li> <li>・1日の様子を保護者に伝え些細な事でも家庭での様子や発達状況を共有出来るように努めている。送迎時気になっていることなど共有している。</li> <li>・送迎時または連絡ノートや電話でされていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡ノート等で利用児童の状況や課題について同じ意識を持つように努めている。今後も、より良い療育が行えるように情報共有を行っていく。</li> </ul>
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	9	3	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との相談はできているが、支援プログラムまでは行っていない。</li> <li>・家族支援については、保護者に向けて研修案内をしたが、定期的には行っていない。</li> <li>・相談された時には事業所で取り組んでいる方法などを提案している。</li> <li>・ペアトレなどは行っていない。研修や講習があれば今後行っても良いと思う。</li> <li>・よくわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が参加出来る公的な研修等のお知らせをききずノートで発信している。今後は、事業所内で保護者支援に関して話し合いを行い検討していく。</li> </ul>
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約に参加していない為、実際自分自身が行って丁寧に説明が出来るか不安であることが課題。</li> <li>・契約時に説明している。</li> <li>・管理者が保護者に説明できている。</li> <li>・専門用語を用いないように出来るだけ分かりやすいように説明するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給者証を確認しながら、内容の説明を行っている。わかりやすく説明する為に出来る限り専門用語を使わないようにしている。今後、職員にも同様に教えていき、運営規定、利用者負担等についての理解を深めていくようにする。</li> </ul>
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシートや面談をまとめ、ニーズを考え、作成に努めている。</li> <li>・出来る限り説明を行い、疑問や不安なことがあれば伺うようにしている。</li> <li>・出来る限り専門用語を用いずわかりやすい個別支援計画になるようにしている。また、ねらいや課題、支援内容を見やすいように工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して、個別支援計画の支援内容については説明し同意を得ているが、よりわかりやすく説明していくように努める。</li> </ul>
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の面談と必要な場合は申し出があったときに面談をしたり、送迎時に話をしたりする。</li> <li>・送迎時や面談を通じて、情報交換し支援に繋がっている。</li> <li>・相談された際は職員で共有し話し合い保護者と連携した支援が出来るようにしている。</li> <li>・ノートや口答でのやりとりにおいて相談があれば場合によって面談を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回個人面談の場を持っている。また、送迎時等で相談をされた際は、一旦教室に持ち帰り事業所内で話し合ってから返答するようにしている。今後も保護者が相談しやすい環境を作るためにコミュニケーションをしっかりと取っていく。</li> </ul>
	32	保護者同士の連携を支援しているか	9	0	7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの関係で、参観日等を行うことが出来ていない。今後リモート等で出来るようにしたい。</li> <li>・コロナ渦の為、機会がなかった。保護者の集まる場の検討のみ</li> <li>・よくわからない。</li> <li>・保護者同士の連携は支援できていない。保護者のニーズを調べながら取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を確認しながらどのような形で保護者同士の集まる場を作っていくか検討していく。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談日以外でも、臨時で行ったり、電話などでも対応したりしている。</li> <li>・送迎時、連絡ノートで情報共有し、次の支援等に生かしたり相談の時間を設けている。</li> <li>・常に職員で共有しは足合って対応している。</li> <li>・要望や申し入れに対して迅速に対応・改善できるよう行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や申し入れがあった場合は迅速に対応するようにしているが、対応の体制が標準化できていない部分があるので、事業所内で話し合い標準化させていく。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信するよう努めている。</li> <li>・ききずノートでお知らせしている。</li> <li>・行事予定の発行やホームページで情報を公開している。</li> <li>・HP更新・ききずノートによる配信が行えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやききずノートで更新で情報発信を行っているが、保護者により分かりやすく、子どもが興味を持てるように内容等について検討していく。</li> </ul>
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の取り扱いでは、段階を分けて同意を取っている。</li> <li>・かぎ付きのロッカーにて保管を行う。</li> <li>・個人情報の取扱いに十分注意しているが、マニュアル等がない為作成することが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いマニュアル等を整備し、より注意して取り扱える環境を作っていく。</li> </ul>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい伝え方を工夫している。</li> <li>・ききずノート連絡や日々の連絡帳などを活用し情報共有を行っている。</li> <li>・プリントや口答にて行き違いのないよう配慮している。</li> <li>・専門用語を用いず、分かりやすく説明するように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ききずノートや連絡帳を用いながらわかりやすい伝え方を心掛けている。行き違いのないよう電話や口頭で話をするように工夫している。</li> </ul>
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	2	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と交流を持つ場を設けることが出来ていない為、どのように交流を持てるか考えていきたい。</li> <li>・コロナ渦の状況もあり行われていない。</li> <li>・地域との行事はないが日々の散歩で地域との交流は行っている。</li> <li>・地域住民を招待することはない。個人情報なども考えて難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた事業所である為に散歩や公園等で挨拶を通して交流を図っていく。</li> </ul>	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	3	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生を想定した訓練まではできていない。</li> <li>・各マニュアルを保護者に周知できていない。発生を想定した訓練について取り組んでいるが、訓練していることを周知できていない。</li> <li>・保護者までマニュアルの周知が出来ておらず今後周知出来るようにマニュアルの完成次第共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に関してどのようなマニュアルがあるかをききずノートを通して通知していく。防犯等に関しては、警察等関係機関に相談しながら行っていく。</li> </ul>	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難ルート等いくつか考え、迅速に避難できる方法を考えている。</li> <li>・定期的に行っている。</li> <li>・定期的な訓練をし、保護者に知らせている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害に関して定期的に訓練を行っているが、より安全な避難ルートがないか、災害の種類によつての避難ルートの変更など検討していく。また、保護者に対して、わかりやすくお知らせをするようにする。</li> </ul>
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時にてんかん等の体調について医療行為が必要か話し合い、看護職員も同席できるようにしている。</li> <li>・アセスメントシートで確認している。内服時処方箋や指示書で確認している。</li> <li>・服薬の確認、与薬の確認を行っている。</li> <li>・見学時に医療的ケアが必要かは確認している。また、必要に応じて看護職員と保護者が話をする場を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせ時や見学時にてんかん発作等については確認している。服薬についてもアセスメントシートで確認しているが予防接種に関しては確認していないのでどこまで確認するかなど検討していく。</li> </ul>
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー児童の一覧を作り、おやつ前に確認したり、食事の際に座る位置など工夫している。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもに対して職員で気を付けて対応にあたり清掃を迅速に行ったり食品を提供しないなど配慮している。</li> <li>・指示書に基づき与薬など対応あり。</li> <li>・アレルギーに関するアンケートを行い、何のアレルギーがあるかは確認している。アレルギー対応に服薬がある場合等は医師の指示書を頂くようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーに関して、アンケートを通して把握し、誤食しないように環境を整えるようにする。与薬がある場合は、医師の指示書などで対応できるようにする。</li> </ul>
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度している。</li> <li>・次に起こらないよう反省を生かしている。ヒヤリハットを共有し、事故を未然に防ぐようにしている。</li> <li>・反省会で状況確認し記載して共有している。</li> <li>・事例集ではないが日誌に記入出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの情報共有は行っているが、事例集までは作成出来ていない。どのような形が職員に取って確認しやすいかなど話し合い検討していく。</li> </ul>
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	5	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止の研修は行われていない。</li> <li>・虐待に関する研修を見て、日々の業務を振り返るようにしている。</li> <li>・研修で注意して支援できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待に関する研修は行っているが、パート職員等に関して周知徹底が出来ていないので研修内容等を共有できるシステムを構築していく。</li> </ul>
44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	5	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座位保持椅子を用いて食事をする場合は、実際に使用するもの保護者に見せるなどし、安全であることを伝え了承を得ている。</li> <li>・記載、職員間でも十分に理解出来ている。必要な際は保護者の了承を得ている。</li> <li>・虐待防止の研修と一緒に身体拘束に関する研修も行っている。やむを得ず身体拘束を行う場合には個別支援計画に記載し保護者に対して説明を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束を行うケースに関しては、職員全員への周知と個別支援計画を通して家族にご理解を頂けるようにしている。今後も、身体拘束に関する研修等に参加し幅広く対応出来るようにしていく。</li> </ul>	